

分野	科目名	単位(時間)	講師所属
専門分野	小児看護学総論	2(45)	専任教員
	開講時期	講義回数	
	2学年前期	22回	
実務経験		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
目標	子どもの特徴を知り、子どもの健康のとらえ方と看護の役割について理解する。 小児看護における成長・発達の基本的な特徴について理解する。 小児保健の動向と対策について理解する。		
授業内容	回	項目	内容
	1	子どもの理解	1.子どもとは ※グループワークにて自分の子ども観をまとめる 2.子ども観の変遷
		小児看護とは	1.看護の対象 2.小児看護の目標 3.小児と家族の諸統計
	2	小児看護の変遷	1.小児看護の変遷 2.小児医療の変遷
		小児看護における倫理	1.子どもの権利 2.医療現場でおこりやすい問題点
		小児看護の課題	1.疾病構造の変化 2.社会の変化 3.小児看護の専門分化
	3	成長・発達の基本	1.成長・発達とは 2.成長・発達の原則 3.成長・発達に影響する因子 4.成長・発達の評価
			1.新生児 2.乳児 3.幼児前期(1～3歳) 4.幼児後期(3～5歳) 5.学童期 6.思春期 ※グループごとにグループワークを実施し、まとめ・発表する
	4 5 6	成長・発達の特徴と看護	
	7	家族の特徴	1.子どもにとっての家族とは 1)家族とは 2)現在家族の特徴 2.家族アセスメント 1)子どもを持つ家族のアセスメントの留意点 2)子どもを持つ家族のアセスメントの目的 3)家族アセスメントの家族にとっての意味
	8 9	子どもと家族を取り巻く社会	1.児童福祉 2.母子保健 3.医療費の支援 4.予防接種 5.学校保健 6.特別支援教育 7.臓器移植法
	10 11 12 13	こども園	1.こども園の環境や整備(施設見学を含む) 2.子どもの成長・発達 3.子どもの教育・保育の方法 4.こども園を利用する子どもとその家族の特徴 ※レポートテーマ「幼児期の子どもの成長・発達について」
	14 15 16 17	学童保育	1.学童保育の環境や整備(施設見学を含む) 2.学童期にある子どもの成長・発達 3.学童期にある子どもの学習や遊びの援助方法 4.学童保育を利用する子どもとその家族の特徴

	18	十里杯月	
	19		
	20		
	21		※レポートテーマ「学童期の子どもの成長・発達について」
	22	まとめ	テーマ「子どもの成長・発達を促す援助の実際」 ※グループごとにグループワークを実施し、発表する
		テスト	
教科書 参考書	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院 国民衛生の動向 一般社団法人 厚生労働統計協会		
評価方法	筆記試験(70点)とグループワークまとめ・発表(10点)、レポート(各10点)で評価を行う。		

分野	科目名	単位(時間)	講師所属	
専門分野	小児看護学 I	1(30)	専任教員	
	開講時期	講義回数		
	2学年前期	15回		
実務経験		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
目標	病気や診療・入院が子どもと家族へ与える影響と看護について理解する。 子どもの成長・発達をふまえた、検査・処置の看護について理解する。 特別な状況にある子どもと家族への看護について理解する。			
授業内容	回	項目	内容	
	1	病気・障害が子どもと家族に与える影響	1. 病気・障害に対する子どもの反応 2. 子どもの病気・障害に対する家族の反応	
		子どもの健康問題と看護	1. 健康問題をもつ子どもと家族の看護の方向性 2. 子どもの治療・健康管理にかかわる看護 3. 子どもの日常生活にかかわる看護 4. 健康問題をもつ子どもの家族の看護	
	2	入院中の子どもと家族の看護	1. 入院環境と看護の役割 2. 入院中の子どもと家族の特徴 3. 入院中の子どもと家族の看護	
	3	外来における子どもと家族の看護	1. 子どもを対象とする外来の特徴と看護の役割 2. 外来の環境 3. 外来受診する子どもと家族の特徴 4. 外来における子どもと家族の看護	
	4	在宅療養中の子どもと家族の看護	1. 在宅療養の環境と看護の役割 2. 在宅療養中の子どもと家族の特徴 3. 在宅療養中の子どもと家族の看護	
		災害時の子どもと家族の看護	1. 被災地の環境と看護の役割 2. 災害時の子どもと家族の特徴 3. 災害時の子どもと家族も看護	
	5	障害のある子どもと家族の看護	1. 障害のとらえ方 2. 障害のある子どもと家族の特徴 3. 障害のある子どもと家族への社会的支援	
	6 7	子どもの虐待と看護	1. 子どもの虐待への対策と経緯と現状 2. 子どもの虐待とは 3. リスク要因と発生予防・早期発見 4. 子どもの虐待に特徴的に見られる状況 5. 求められるケア	
	8 9 10 11 12 13	診療(検査・処置)に伴う技術と看護	1. バイタルサインの測定 2. 身体計測 3. 採血 4. 採尿 5. 骨髄穿刺 6. 腰椎穿刺 7. 与薬 8. 注射 9. 輸液療法 10. 吸引 11. 酸素療法 12. 経管栄養	
	14 15	プレパレーション	1. 子どもへの説明と同意 2. 家族の準備状態の把握 3. 検査・処置を受ける子どもと家族への支援	
		テスト		
	教科書 参考書	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院 新訂版 写真でわかる小児看護技術 アドバンス		
	評価方法	筆記試験で評価を行う。		

分野	科目名	単位(時間)	講師所属
専門分野	小児看護学Ⅱ	1(30)	外部講師
	開講時期	講義回数	
	2学年後期	15回	
実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
目標	症状の特徴をふまえ、子どもと家族の看護について理解する。 各健康段階の子どもと家族の特徴と看護について理解する。 健康障害をもつ子どもと家族の看護について理解する。		
授業内容	回	項目	内容
	1 2 3 4	小児における主な症状と看護	1.疼痛 2.発熱 3.呼吸困難 4.けいれん 5.嘔吐 6.下痢 7.脱水 8.浮腫 9.意識障害
	5 6 7 8	健康段階に応じた看護	1.急性期にある子どもと家族の看護 2.周手術期の子どもと家族の看護 3.慢性期にある子どもと家族の看護 4.終末期にある子どもと家族の看護
	9 10 11 12 13 14 15	子どもの健康障害と看護	1.消化器疾患 1)肥厚性幽門狭窄症 2)腸重積 3)鎖肛 2.呼吸器疾患 1)気管支喘息 3.循環器疾患 1)川崎病 4.腎・泌尿器疾患 1)ネフローゼ症候群 5.脳・神経系 1)発達障害 6.アレルギー 1)アトピー性皮膚炎 7.代謝系疾患 1)糖尿病 2)フェニルケトン尿症 8.先天性疾患 1)ダウン症候群 2)心室中隔欠損症
		テスト	
	教科書 参考書	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学② 医学書院	
評価方法	筆記試験で評価を行う。		